

千葉日報 2016年4月25日

館山

青木繁「海の幸」記念館が完成

ノーベル賞 大村さんも祝福



完成した「青木繁「海の幸」記念館」の前で
関係者と記念写真を撮るノーベル生理学・医学
賞受賞者の大村智さん(右から4人目) 24
日、館山市布良
(記事11面)

小谷家住宅内に展示された「海の幸」の複製画を説明を受けながら見る
大村智さん(左)＝館山市布良



『海の幸』 記念館完成

明治期の画家、青木繁が代表作「海の幸」を描いた館山市布良の小谷家住宅の修復工事が完了し、「青木繁『海の幸』記念館」として一般公開されるのを記念した式典が24日、同市で開かれた。保存活動に協力したノーベル

「さらに愛され発展を」

館山

生理学・医学賞受賞者の大村智さんも参加。「地域での経済活動と文化活動が相まって豊かな生活をもたらす。芸術を志す若い人や愛好する人にさらに愛され発展することを祈願する」と祝辞を述べた。

小谷家住宅 保存協力の大村さん

小谷家住宅は木造平屋建てで、市指定有形文化財。繁は1904年夏に40日間滞在し、国重要文化財「海の幸」などの作品を生み出した。

住宅は築120年ほどがたち老朽化。大村さんが理事長を務め全国の画家らで構成するNPO法人青木繁「海の幸」会、地元青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会、現当主の小谷福哲さん、市が連携し保存活動を進めてきた。

修復工事の総事業費は約2800万円。このうち500万円は大村さんがふるさと納税で市に寄付。市は560万円を補助した。

式典後、小谷家住宅を見学した大村さんは「この場所では海が生まれたことは感無量。感性豊かな画家が風土に感化されてきた絵」と感想を語った。現当

主で記念館の館長を務める小谷さんは「修復完了は」終着点でなく、通過点。小谷家住宅を起爆剤に明治時代の活気を再現したい」と意気込んだ。

記念館は29日～5月8日

の大型連休期間は特別公開。その後は土日のみ公開。

入館料は200円(小中高100円)。問い合わせは

NPO法人安房文化遺産フ

ォーラム☎0470(22)8271。